

3. 適正な運用を普及する取組み

3-1.簡易マニュアル展開・適正運用を評価する要領へ改訂

3-2.山口県主催セミナー事後アンケート結果

3-3.公共発注者の取組み状況

● 北海道開発局では、簡易マニュアルを整備し全道に周知

⑥-1 施工体制技能者登録をします 620_施工体制登録 → 20_技能者登録 現場に入る人を設定します（ここで主任技術者・職長・班長などの設定をします）

元語の場合
「自社が登録した現場」にして「検索」を押すと検索結果に入力した現場情報が出てくるのでクリックし青くしてから「設定」を押します

1次業者以降は
ここを
「自社が施工体制に登録されている現場にチェックして「検索」」
下に現場が出てきたらクリックして青くして「設定」を押します

〇の所にチェックつけて設定を押します
この表示が出ない場合は下の画面がでています

1次業者以降の画面の表示は
「現場情報」
「下請負事業者情報」
「作業者情報」と表示されています。
ここで表示されているのは元語の表示画面です

すぐに
明細登録
を押します

⑥-3 施工体制技能者登録をします 620_施工体制登録 → 20_技能者登録

職種が入っていれば前のページの画面で
「監督技術者・主任技術者・安全衛生責任者・職長・班長の人の名前横の「編集」を押すと左のウィンドウが出てくるので入力します

ここが！
有効化登録
をするための
大事なポイントです
必ず入力します

能力評価のレベル2や3・4を申請する時は職長や班長等の立場としての就業履歴が必要となりますのでここをしっかりと入れましょう ※上記の立場が無い人はここは入力しません

立場の開以下の情報は登録が完了したら右下の「設定」を押します。
監督技術者・主任技術者・職長・班長・安全衛生責任者全員を登録します。
※立場以下の欄（保有資格の所のドロップダウンに何も表示されない場合は、技能者登録時「簡略型」で登録した時、資格情報は表示されません。詳細は③-3をご覧ください。

全員登録が完了したら次は一番下にある
安全書類関連情報登録
を押して画面を表示させます

表示されるウィンドウでは施工体制台帳に関する内容を入力します
「監督員」「安全衛生責任者」「安全衛生推進者」「雇用管理責任者」「専門技術者」「現場代理人」「主任技術者」「受入企業責任者」の情報を入力して「登録」を押します。
この画面では、技能者選択から選ぶ事もできますし、名前の所は直接入力もできます。
受入企業責任者とは、外国人技能実習生を受け入れてる会社の情報です。
ここにいれると 540_安全書類 の所に情報が入って出てきます。

施工体制技能者登録は以上です

⑧ 今までの情報がしっかり入力され カードリーダーで就業履歴を蓄積した場合 510_閲覧 → 60_自社に関する現場・就業履歴 にはこのように表示されます

・事業者ID～技能者名までしっかり表示されている

・カードリーダーにカードを毎日かざすことにより「ICカード」と表示されます

・職種と立場が表示されている

・職種が違う場合、⑦の6) で職種の所の「えんぴつボタン」を押して編集します。
立場が入っていない場合は③-3を確認してください。

● 札幌開発建設部：受注者・監督員を対象にメリットに繋がる適正運用を周知するセミナーを開催（8/26）

● 北海道では登録事業者率確認帳票に**施工体制登録事業者一覧**を明記、

(3) 試行内容

(1) の対象工事において、受注者が工事着手前に発注者に対してCCUSの活用に取り組む旨を希望し、下表の評価対象項目ごとの判断基準（以下「基準」という。）を全て達成した場合、工事施行成績評定において加点評価を行うものとする。

評価対象項目	判断基準
①登録事業者率	元請がCCUSを活用していること、かつ、登録事業者率（CCUS登録事業者数／元請および下請事業者の総事業者数）が65%以上
②アンケートの回答	工事完成までにアンケートに回答

(4) 基準達成状況の確認方法

1) 発注者は、受注者に対して（3）に掲げる基準の達成状況を記載した資料の提出を求めることにより、基準の達成状況を確認するものとする。

評価対象項目	提出書類の例
①登録事業者率	施工体系図、 <u>施工体制登録事業者一覧</u>
②アンケートの回答	アンケートの回答結果を印刷

適正運用を確認・評価

* 補足として毎月の確認・指導を記載

(8) その他

1) 受注者は、技能者の就業履歴について、毎月、「就業履歴一覧（月別カレンダー）」等を用いて就業履歴情報の蓄積状況を確認し、その結果をもとに、毎月開催する災害防止協議会等において、下請事業者に対し、CCUSの適正な運用および意識啓発を行うものとする。

運用結果の確認・フォローを定着化

● 秋田県では、CCUS原則化の条件として有効な履歴であることを確認する規定

1 実施項目及び実施内容

- CCUSを活用する工事として、受注者は以下の項目を全て実施すること。

実施項目	実施内容	確認できる書類の例
①施工体制技能者登録	当該現場に従事する技能者情報を登録すること。	就業履歴一覧（月別カレンダー）等
②就業履歴情報登録	カードリーダー等を設置し、技能者情報を登録した技能者の就業履歴情報を蓄積すること。	就業履歴一覧（月別カレンダー）等

※施工体制技能者登録を行う際には、「職種」の確認や「立場」（当該現場において、主任技術者や職長等「立場」がある場合）の情報を付加した上で登録すること。

4 その他

- 事業者登録、技能者登録、管理者ID登録にかかる費用、およびレベルアップ料金は、費用計上の対象としない。
- 監督員等は、現場確認などの際にCCUSの活用状況を受注者へ確認し、下請事業者を含め、CCUSの未活用※1又は活用の不備※2が認められた場合は、受注者に対して是正するよう求めるものとする。
- なお、CCUSに登録された施工体制台帳及び施工体系図は、受注者が当該現場のIDと発注者用のパスワードを記載した打合せ簿を情報共有システム等により提出し、監督員等がCCUSにより確認するものとする。
- 受注者は、発注者からの依頼があった際には、CCUSの活用に関するアンケート調査等に積極的に協力するものとする。
- 本運用に定めのない事項については、必要に応じて受発注者で協議して定めるものとする。

● 富山県では結果で確認する要領を試行し良好な結果を確認済み

3. 実施方法

(1) 実施内容

受注者は、下記①、②を実施し、最終計測後、結果を監督員に報告する。

監督員は、提出資料により目標基準の達成状況を確認する。

① 就業履歴蓄積率（平均）	
目標基準	確認方法（提出資料）
就業履歴蓄積率 $\text{＝計測日のカードタッチ数／計測日の作業員数}$ が60%以上であること。 ※（2）で設定する全計測日の平均値	CCUS活用確認票 （別紙 Excel）
② 有効就業履歴蓄積率（最終）	
目標基準	確認方法（提出資料）
有効就業履歴蓄積率 ＝有効な就業履歴／全就業履歴 が95%以上であること。 ※ 施工期間全体に対する最終値 ※ 提出は最終値でよいが、計測日毎に確認し、有効でない履歴がある場合は当該下請事業者に施工体制技能者登録を見直すよう依頼することが望ましい。	有効就業履歴蓄積率算定表 （算定アプリで出力）

※CCUSは、システムの運用主体である（一財）建設業振興基金が作成する「建設

実施履歴：【 1 】	実施履歴：【 2 】
① 就業履歴蓄積率 	① 就業履歴蓄積率
② 有効就業履歴蓄積率 	② 有効就業履歴蓄積率

47 / 47

社が「CCUSを活用してみたい」と回答

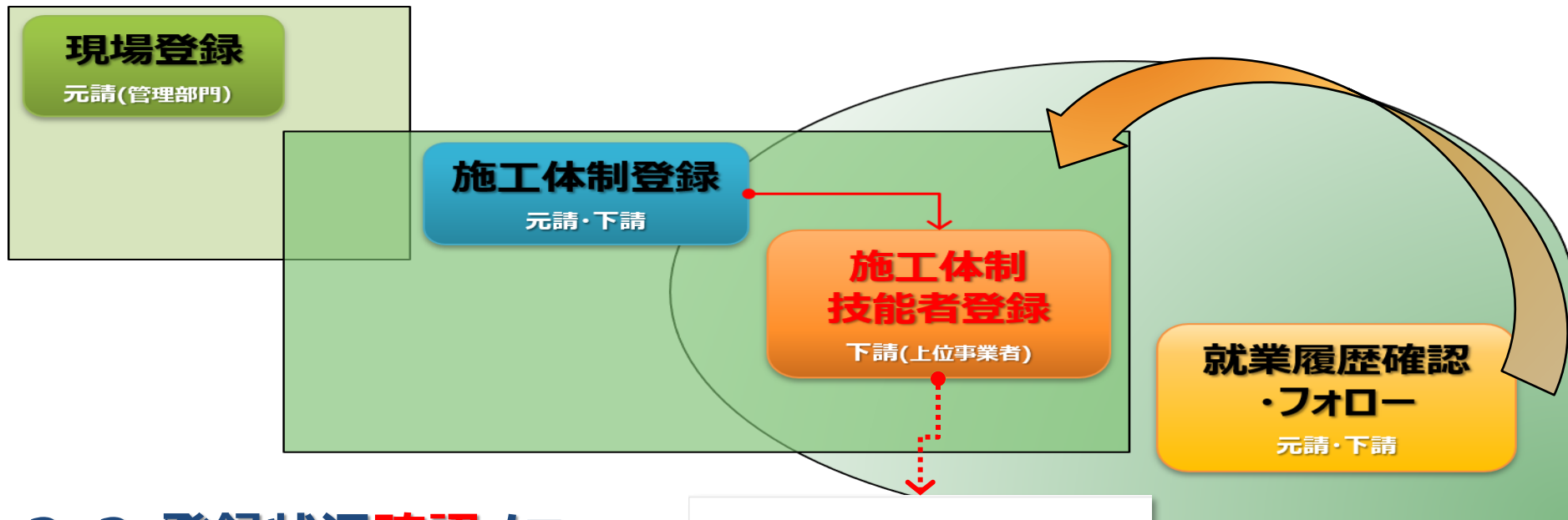
意欲は、100点。

43% 参加者はCCUS**活用**の**未経験者**
(意欲はあっても実践が伴わない)

34% 「サポートがあれば活用できると思う」
(単独では不安)

意欲は満点 踏み出す一歩は発注者の後押しで決まる

3-2-1.現場運用基本フロー（現場登録・施工体制・施工体制技能者登録）



3-2-2.登録状況確認メニュー（就業履歴・作業員名簿）

1) 作業員名簿の確認・出力手順:
元請・下請

作業員名簿

施工体制台帳・作業員名簿

作業員ID	氏名	性別	生年月日	所属会社	職種	登録年月	有効期限	備考
001	田中 太郎	男	1985-03-15	ABC建設	作業員	2023-01	2025-01	
002	佐藤 花子	女	1990-07-22	DEF建設	作業員	2023-02	2025-02	
003	山田 一郎	男	1988-11-05	GHI建設	作業員	2023-03	2025-03	
004	鈴木 次郎	男	1992-05-18	JKL建設	作業員	2023-04	2025-04	
005	高橋 三郎	男	1987-09-10	MNO建設	作業員	2023-05	2025-05	
006	中村 四郎	男	1991-12-01	PQR建設	作業員	2023-06	2025-06	
007	小林 五郎	男	1989-04-25	STU建設	作業員	2023-07	2025-07	
008	渡辺 六郎	男	1993-08-12	VWX建設	作業員	2023-08	2025-08	
009	森田 七郎	男	1986-10-30	YZA建設	作業員	2023-09	2025-09	
010	伊藤 八郎	男	1994-02-14	BCD建設	作業員	2023-10	2025-10	

就業履歴月別カレンダー

所属事業主ID・事業主名の表示有無

就業履歴の表示有無

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
2月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
3月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
4月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
5月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
6月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
7月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
8月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
9月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
10月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
11月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		
12月	田中 太郎	佐藤 花子	山田 一郎	鈴木 次郎	高橋 三郎	中村 四郎	小林 五郎	渡辺 六郎	森田 七郎	伊藤 八郎		

2) 就業履歴月別カレンダーの確認手順:元請

● 適正運用まで進めた自治体ほど、メリットを実感している。

取組状況 × 受注者・技能者へのメリット実感（回答数・行内割合）

適正運用・メリットを意識した
制度整備済み（2団体）

100%

十分50% + ある程度50%
受注者・技能者へのメリットを実感

モデル工事・試行工事で
検証中（13団体）

54%

十分0% + ある程度54%
約半数はまだ実感できていない

制度・要領はあるが
運用確認不十分（8団体）

50%

十分0% + ある程度50%
半数はまだ実感できていない

● 適正な運用まで踏み込んだ自治体ほど、受注者・技能者は メリットを実感している。

4. 基金のサポート体制と普及展開案

4-1. 基金のサポート体制：受発注者の相互理解を徹底

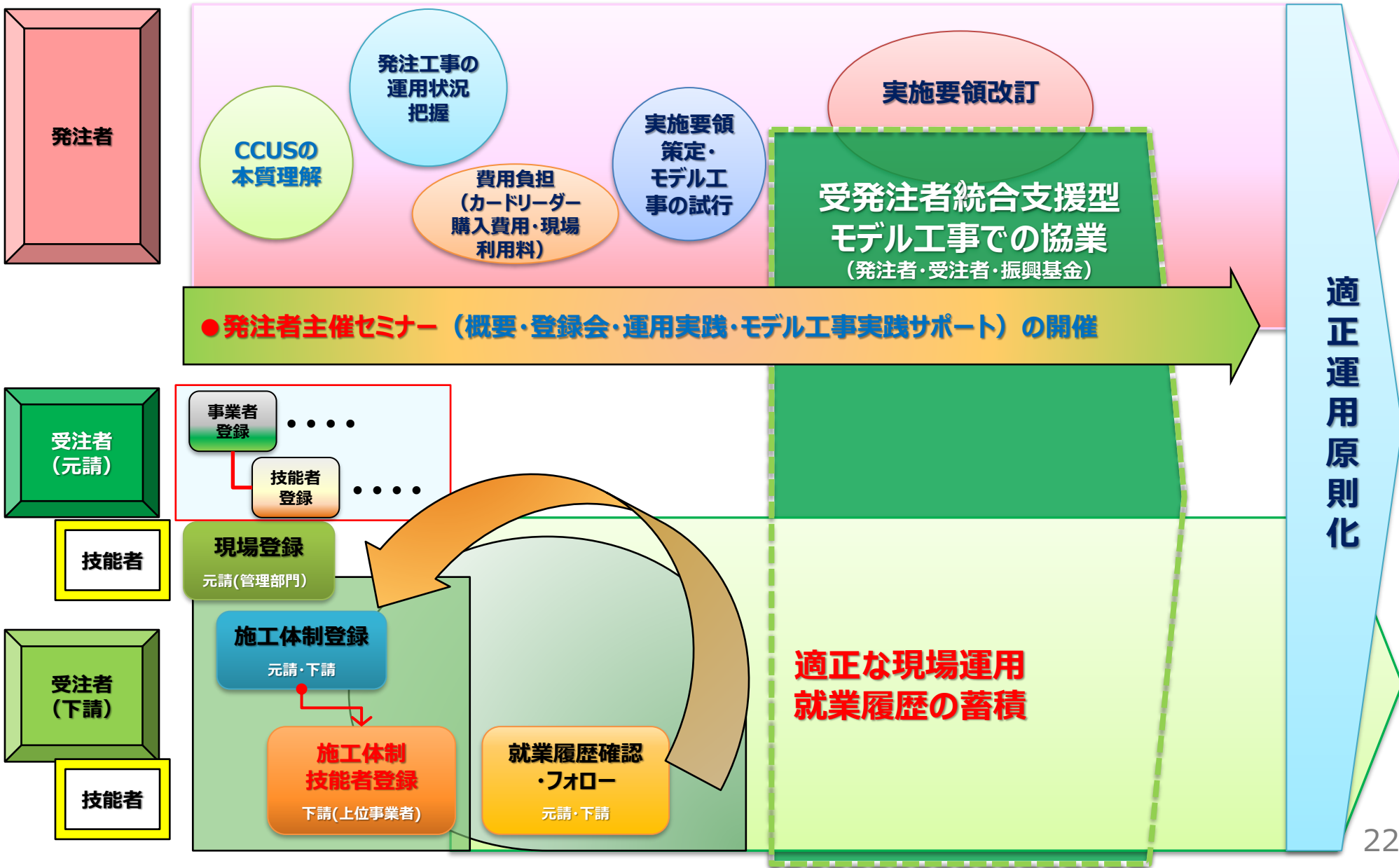
4-2. 工事を契機とした普及促進活動について

4-3. 期待される効果とサポート事例

＊ポジティブコントラクター・サポート制度

4-4. 地方自治体での展開方法案

＊自治体主催の説明会事例



■ 目的：

● 公共発注者の理解促進

モデル工事を発注する発注者に、CCUSの趣旨や適正な運用を理解していただく



● 受注者に対する徹底的なサポート

- ・実施要領に関わらず適正な運用をマスターすることでモデル工事への積極的な参加意欲を醸成
- ・デジタルなCCUS運用を体得して、施工体制台帳・建退共等へのデータ連携管理で効率化を実感
- ・CCUS活用企業として、若手入職者へアピール、採用に貢献

- **元請**は基金の**サポート***を受けて運用するので、**適正な運用方法をマスター**できる。
* ポジコンサポート制度（次ページ）でエントリー
 - **発注者**自身が**CCUSの運用状況を確認**できる。（施工体制等登録方法、カードタッチ状況、就業履歴蓄積内容など）
 - 工事成績評定の計測方法など、実際のデータを抽出する過程やそれに伴う労力を理解していただくことで、**元請のモチベーションアップ**につながる。
 - **モデル工事見学会**の開催により、周囲の事業者、発注者に**CCUSの適正な運用**について**水平展開**が図れる。
- 2024.10.01 関東地整発注**モデル工事見学会**の様子：

・元請からの報告内容：カードタッチ状況は動画で紹介



・見学会開催状況：地場元請、発注者が参加



- 全国に存在する、CCUSに前向きに取り組む企業(ポジティブコントラクター)を徹底的にサポートし、公共発注者によるモデル工事へのエントリーをお手伝いしています。
- なかなか実践環境を見る機会が少ない公共発注者との相互理解を計りながら、モデル工事見学会等を通じて当該エリアの同業他社や専門工事企業への普及展開を図っています。

★適用条件:



- 直庸技能者だけでなく、下請企業を含めて技能者のレベルアップ・処遇改善のために汗を掛けること
- 既にモデル工事を受注した、もしくは、これから適正な現場運用を学び、モデル工事を受注していきたい
- 同業者や下請、発注者等を集めて見学会を開催できること(開催時期は応相談)
- 加点目的だけでモデル工事に取り組まないこと

★運用手順:

サポート申込:

ccus01@kensetsu-u-kikin.or.jp

事前打合せ(Web)

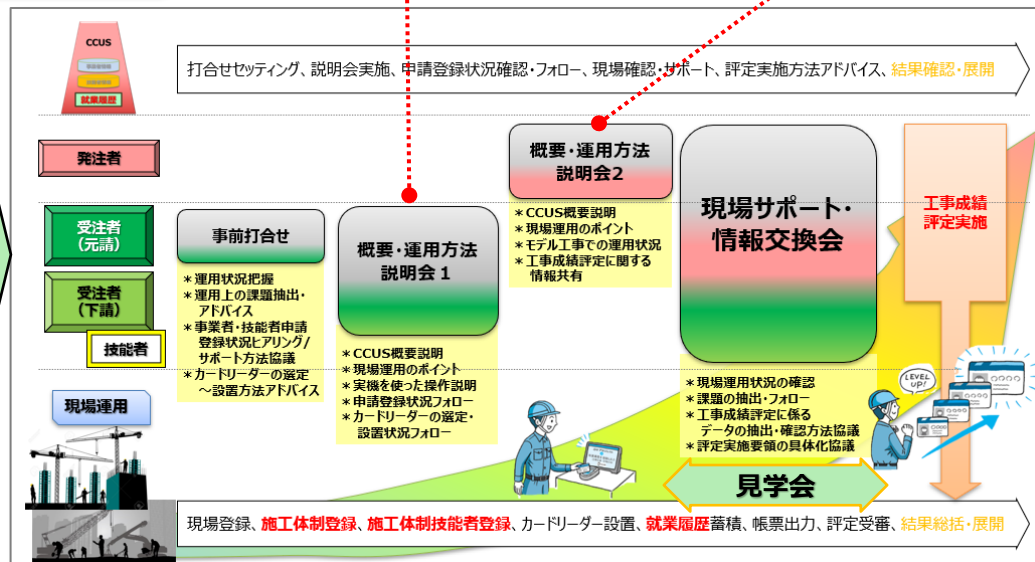
- 右記**モデル工事推進ロードマップ**に従い、基金のサポートを受けながら、**発注者とともにモデル工事を進めていきます。**
- 必要に応じて、下請の事業者・技能者**登録会**も開催します

★留意事項:

- 事前打合せは無料ですが、説明会1以降は以下の費用はご負担ください
- 講師の旅費(交通費・宿泊費)
- 説明会・見学会に掛かる費用(施設利用料、テキスト印刷代、電力通信費等)



モデル工事推進ロードマップ



自治体

**モデル工事
実施(試行)
要領案**

土木部・県土整備部

農林水産部・

県民局・事務所

A県民局・事務所

B県民局・事務所

C県民局・事務所

D県民局・事務所

発注部署ごと
発注工事リスト

受発注者統合支援型協業モデル工事
試行協力者候補
をご提案

現場登録・
運用状況
調査

建設業振興基金



- 運用状況 (A⇒B⇒C・D)
 - 登録現場数、登録技能者数
- をもとに協業するにふさわしい
企業を候補として選定

ご検討・
ご回答

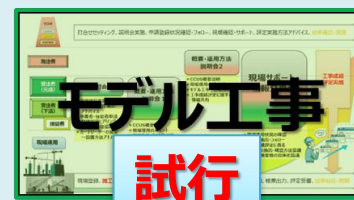
候補企業に協業モデル試行・
基金のサポートを提案

自治体としてモデル工事实施（改訂）のための評価項目や基準値、
実施に伴う負担度合いを検証する

候補企業

ご検討・
ご回答

Yes



サポートを
開始

●発注者主催セミナー（概要・運用実践・モデル工事实践・登録会）の開催（事業者向け、職員向け）

● 公共発注者の本気度が受注者に響く！

県名	施策内容	参加者数	特記事項
岩手	県主催 概要セミナー ⇒運用実践セミナー	180名 (118社)	R7.11に2日間、概要を講義型で開催。 第2弾で運用実践セミナーをR8.7に3日間実施しほぼ満席に。 実施要領の改訂にも前向き
佐賀	県主催 現場運用実践セミナー×2	102名 (74社)	R8.1に県主催運用実践セミナーを開催、当初2回⇒4回に拡大。好評に付き第2弾を6月に県内3か所で開催。
秋田	県主CCUS原則化周知セミナー ⇒運用実践セミナー	250名	R8.2からモデル工事を飛び越え原則化を実施。 初回説明会が満席となり、登録・活用両面に対応するセミナーを県内3か所で実施したところ、運用実践に参加者が集中。



5. 実機操作デモ

5-1. 現場運用基本フロー

(現場登録・施工体制・施工体制技能者登録)

- 5-1-1. 現場管理者ID設定:元請
- 5-1-2. 現場登録:元請
- 5-1-3. 施工体制登録 (招待) :元請
- 5-1-4. 施工体制登録 (承認) :下請
- 5-1-5. 施工体制技能者登録 : 各事業者

5-2. 登録状況確認メニュー (就業履歴・作業員名簿)

- 5-2-1. 就業履歴月別カレンダーの確認手順:元請
- 5-2-2. 作業員名簿の確認・出力手順:元請・下請

CCUSで業務改革・DX：
利益向上と処遇改善の好循環をまわそう！

END